

仙台防災未来フォーラム 2019 に参加しました (2019/3/10)

テーマ：防災・減災、仙台防災枠組
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2019年3月10日(日)に、仙台国際センターにおいて、仙台市が主催で、「仙台防災未来フォーラム2019」が開催されました。このフォーラムは、東日本大震災の経験や教訓を未来に繋ぐため、セッションやブース展示、体験型イベントなどを通じて市民のみなさまが防災を学び、日ごろの活動を発信できるイベントとして実施され、今年は「主役はマルチステークホルダーわたしたちが知る・行動する防災の未来へ」がテーマでした。当研究所からは以下の者が、登壇者や講評としてセッション等に登壇しました。

・セッション

仙台市民が仙台防災枠組から考える防災・減災 ～「仙台防災枠組講座シリーズ」成果発表会～

[主催] 仙台市防災環境都市・震災復興室／東北大学災害科学国際研究所

登壇者・講評：今村文彦 教授（災害リスク研究部門）

登壇者：泉貴子 准教授（地域・都市再生研究部門）

・プレゼンテーション

ステルス防災：防災・減災の行動を日常にインストールする

[主催] 東北大学災害科学国際研究所／工学研究科フィールドデザインセンター／NTT サービスエボリューション研究所

登壇者：本江正茂 准教授（兼務：情報管理・社会連携部門）

・クロージング

講評：今村文彦 教授（上述）

また、ブース展示には、当研究所から2ブースを出展しました。まず、研究所全体（担当：産官学連携WG・展示WG）としての出展では、当研究所教員が執筆した朝日小学生新聞の災害説明記事を拡大したパネル、被災後ケア（ココロとカラダを回復させる10のこと）リーフレット、減災アクションカードゲーム、減災ポケット『結』（ハンカチ）、減災風呂敷『結』及び浴衣、中小企業BCP導入ガイドの紹介資料、歴史資料保全ネットワークパンフレット、当研究所説明パンフレット等を展示・配布しました。地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門の出展では、3点のポスター展示、津波シミュレーションおよび防災教育活動等の動画デモ、防災クリアファイル・東京海上グループCSRブックレット2018の配布を実施しました。

・研究所全体（産官学連携WG・展示WG）：丸谷浩明 教授（人間・社会対応研究部門）、岡田真介 助教（災害理学研究部門）、寅屋敷哲也 助教・水谷大二郎 助教（人間・社会対応研究部門）、稲葉洋平 助教（災害医学研究部門）、定池祐季 助教（情報管理・社会連携部門）、門廻充侍 助教（災害リスク研究部門）、山口裕矢 助手（地域・都市再生研究部門）

・地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門：山下啓 准教授、瀧川裕貴 助教、林晃大 助手、保田真理 プロジェクト講師（寄附研究部門）、サッパシーアナワット 准教授（災害リスク研究部門）

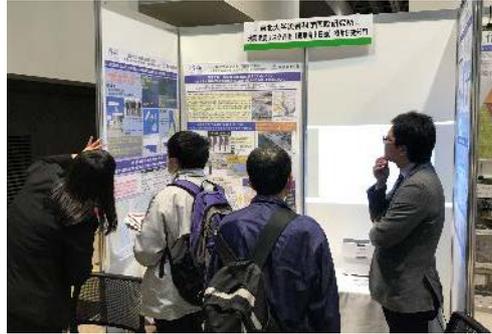
なお、同会場では、本フォーラムの連携行事として、当研究所主催の「東日本大震災8周年シンポジウム東日本大震災の教訓の共有と継承を考える」を開催しました。詳細は別に掲載します。

文責：寅屋敷 哲也、丸谷 浩明（人間・社会対応研究部門）、林晃大（寄附研究部門）

（次頁へつづく）



展示の様子（産官学連携・展示WG）



展示の様子（寄附研究部門）



仙台防災未来フォーラム会場の様子



仙台防災未来フォーラム会場の様子